

**【授業の到達目標および概要】**

ヒトゲノムが解析され、全ての生命現象が遺伝子レベルでの解析が進んでいる。栄養学でもヒトに関する遺伝子レベルの理解が必要である。この講義では、遺伝子を理解するための基礎知識から生活習慣病の発症分子機構までを解説する。生活習慣病について分子レベルで説明できるのが目標である。

**【授業計画】**

- ① DNAの分子構造
- ② 遺伝子情報の流れ
- ③ ヒトゲノム
- ④ 生活習慣病と遺伝子多型
- ⑤ 肥満の分子機構
- ⑥ 糖尿病、高血圧等の分子機構
- ⑦⑧ まとめ

**【授業外学習】**

生化学の「エネルギー代謝」の項を復習する。

**【成績評価の方法・基準】**

レポートにより評価を行う。

**【参考書】**

1. 佐久間慶子著 栄養と遺伝子のはなし—分子栄養学入門 技報堂出版
2. 有波忠雄、太田敏子、清水淑子、福島亜紀子、三村邦裕編 メディカルサイエンス遺伝子検査学 近代出版

**【教材】**

随時プリントを配布する。